

## 成田空港×ANA×JAL共同 『成田空港で資源をまた使おうプロジェクト』始動!!

成田国際空港株式会社（代表取締役社長：田村 明比古、以下「NAA」）は、ANAホールディングス株式会社（代表取締役社長：芝田 浩二）及び日本航空株式会社（代表取締役社長：赤坂 祐二）と連携して、資源循環に関する共同プロジェクト『成田空港で資源をまた使おうプロジェクト』を、2023年4月1日より始動します。本プロジェクトの概要は以下の通りです。

### 【プラスチック資源循環】 4月1日より運用開始



廃棄される ※1  
航空貨物用の梱包フィルムを回収



※4  
旅客ターミナルビル  
等のごみ箱で使用

再生材ゴミ袋 ※2  
『FUROSHIKI』  
に再生



新たに再資源化に取り組むプラスチック  
年間130t ※3

- ※1 貨物用シートやストレッチフィルム等
- ※2 99%廃プラスチックを使用
- ※3 2021年度における排出実績ベース
- ※4 (株)成田空港美整社・三栄メンテナンス(株)・(株)ソピュア・日本空港テクノ(株)と連携

### 【木材資源循環】 順次運用開始



廃棄される ※1  
航空貨物用の木製輸送資材を回収



航空貨物輸送  
で使用

輸送用資材  
(角当て・ボード等)  
に再生



新たに再資源化に取り組む木製パレット  
年間700t ※2

- ※1 木製パレットや木製ボード等
- ※2 2021年度における排出実績ベース

成田空港は世界第5位の航空貨物取扱量(2021年度)を誇る一方、多くの関連する廃棄物が発生します。これまででは空港関連事業者が独自に取り組みを行っていましたが、株式会社サティスファクトリー協力のもと、NAAの働きかけに各社が賛同・連携し、成田空港の新たな資源循環スキームを構築しました。今後も、参加企業や品目等を増やし、更なるプロジェクトの拡大を実現していきます。

NAAでは、2021年に「サステナブルNRT2050」を策定し、2050年度までに成田空港から排出されるCO<sub>2</sub>を50%削減(2015年度比)することを目標としています。NAAは、2019年以來取り組んでいる「成田空港のプラスチック・スマート」活動のレベルアップを含めて、今後も持続的に発展できるサステナブル・エアポートを目指します。



サステナブルNRT2050



「成田空港のプラスチック・スマート」宣言

